

東日本大震災にあたり、日本救助犬協会は5回に渡り出動いたしましたが、その活動に対して
赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業より
助成を受けました。



東日本大震災 出動報告書

2011年6月5日

第一次派遣	2011年3月12日～15日	宮城県名取市閑上地区
第二次派遣	2011年3月13日～15日	宮城県南三陸町志津川地区
第三次派遣	2011年3月28日～31日	宮城県石巻市国道45号線成田地区
第四次派遣	2011年4月 5日～11日	岩手県大船渡市／陸前高田市
第五次派遣	2011年4月 8日～11日	岩手県陸前高田市
復興 支援	2011年5月27日～29日	岩手県大船渡市(支援イベント参加)

NPO法人 日本救助犬協会

東日本大震災 出動にあたり

阪神淡路大震災の教訓を得て日本に多くの災害救助犬団体が誕生し、私たちの協会もその中の一つとして爾来その育成に携わってきました。そして、今回の大震災に至るまで台湾大地震、新潟中越地震他いくつかの大きな地震を経験し出動してきました。

幸いにも国内での地震規模は限定的で、多数の行方不明者発生という大事には至りませんでした。しかし、今回のような大規模で広域に及ぶ海溝型巨大地震とそれに伴う大津波による甚大な災害、そして数百数千という規模の行方不明者の発生は私たちの想像を遥かに超えるものでした。

私たちは有無を言わず、普段訓練している搜索というスキルを活かさなければならない立場に置かれ、より速やかに、より確実にそれを実行することが求められました。

この状況下、日本救助犬協会は3月12日から4月11日に至る間、5回の出動を果たしました。被災現場は災害救助犬としての活動をするには大変厳しい状況でしたが、行方不明者搜索という私たちの目指す任務を遂行し、微力ながら救援活動の一員として活動することができました。

ここに出動した各隊の活動についての報告を致します。そしてこの度の出動で浮き彫りになりましたいくつかの問題点を検討し、今後の訓練活動に役立て、さらに守備範囲の広い救助犬の育成に努めてまいります。

また、より実践的な訓練の場をご提供頂いております法人・企業の皆さまには深く感謝、御礼申し上げます。

東日本大震災 出動報告

出動派遣隊 詳細一覧

出 動	期間	日数	搜索活動地	出動経緯	人数	車両	頭数
第一次派遣	11.3.12~3.15	4	名取市 閑上地区	自主出動	8	3	2
第二次派遣	11.3.13~3.15	3	南三陸町 志津川地区	自主出動	4	1	2
第三次派遣	11.3.28~3.31	4	石巻市 国道45号線成 田地区	宮城県	6	2	5
第四次派遣	11.4.5~4.11	7	大船渡市 魚港付近及び 基石海岸付近 ~陸前高田市	大船渡市	6	2	5
第五次派遣	11.4.8~4.11	4	陸前高田市 竹駒町 十日市場地区	陸前高田市	10	3	8
		22			34	11	22

JRDA2011.4.17

3/11

震災直後より 協会緊急連絡網で協議、緊急出動を決定した。

3/12 07:30

第一次派遣隊として、8名2頭車両3台にて、福島を目指す。

18:18

移動中、情報から被災の大きい宮城へ目的地変更、東北道を北上。
 仙台市消防本部着。災害対策本部でもいまだ被災状況が把握されておらず、災害救助犬の投入指示を出せず、連絡待機となる。
 すでに別動隊として現着していた神奈川訓練士協会(RDTA)村瀬氏と海上自衛隊呉・救助犬Gと連絡が取れ、待機場所である宮城県警察学校にて協会チームも合流、待機となる。

3/13 05:30

岩沼警察の指示により岩沼・名取エリアの搜索となる。

07:00

名取市閑上地区にてRDTAとエリアを分け搜索活動に向かう。
 東仙台有料道路の名取ICを出ると状況は一変していた。

09:00

車両の通行スペースは確保されているものの道の両側は瓦礫の山。
 閑上大橋上に駐車、現場本部(東京本部との連絡1名)を設置する。
 犬2頭、サポーター2名、医師を含む7名で名取消防署隊長の先導で搜索開始した。

道路上は、汚泥が堆積しており歩きにくい、幾度かの余震による津波退避命令、晴天下での往復は犬の意欲低下、人の体力消耗が激しい。

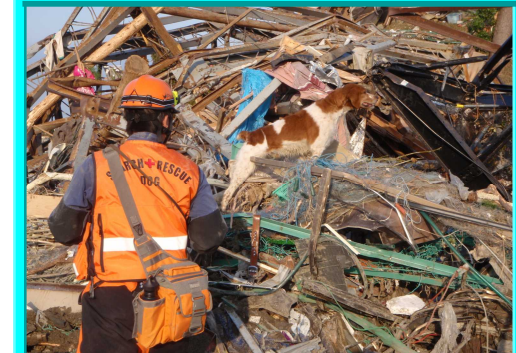
3/14 06:00

名取市閑上地区、昨日未搜索エリアを重点的に搜索。

13:00

被災した住民が我が家を探しに来るが言葉なく、黙々と動き回っている。
 誤報による津波で全員駆け足で退避場所へ向かう。別動隊は同行の名取市消防隊長の判断により避難所手前の被災消防分署へ避難。
 閑上水路に消防車が水没していた。隊長の部下を発見、無念である。
 17:56 本日搜索終了。今のエリア内で生存者のいる可能性がなく、72時間を越えてきたので、要請がない限り撤収の方向。

3/15 10:00



3/13

18:08 第二次出動メンバーが参集した富士見訓練場を東北に向けて出発した。福島県に入り、所々道路が傷んで段差が目立つようになった。仙台を過ぎてから携帯も圏外が多くなったがPC からネット情報を得る事ができたので、被害情報や救助活動情報を収集した。行方不明者が多く出ていると思われる被災現場に向けて、可能な限り正しい情報を求めた。

3/14

06:15 長者原SA を出発、築館IC から国道398 を東(三陸側)へ向かった。結果、南三陸町志津川地区を最終目的として目指した。
08:53 宮城県警の志津川地区対策本部が設置されている入谷小学校に到着。
09:28 被災現場の一つである慈恵園特養施設「のぞみ園」に到着。
10:13 県警と合同で二班に分かれて捜索を開始した。
10:49 県警無線を通じて津波情報が入り、山斜面に退避した。まもなく解除。
11:26 警察無線で福島第一原発が爆発したとの知らせ、全員校舎内に退避。

14:10 午後の捜索開始。主に慈恵園施設内捜索。
16:18 作業終了までに明確な反応を示すところはなく、残念ながら生存者、行方不明者の発見には至らなかった。
県警災害対策本部(志津川地区)入谷小学校校庭にてテント設営。

3/15

08:32 慈恵園施設内での捜索を再開する。
09:10 倒壊家屋瓦礫の間で2頭が同様の反応を示すが、堆積物が密で多く、埋没者の有無を確認できず、県警員に伝えるにとどまる。
14:30 午後の捜索は犬の疲労や原発事故の関連を踏まえて、15時までに終了。志津川地区災害対策本部ほかへ終了報告、挨拶後帰途についた。



3/27 14:30

国土交通省 石巻国道維持出張所より搜索要請あり。
 宮城県災害対策本部より、「石巻市内で余震による土砂崩れの為、複数台？の車が埋もれている可能性」あり。当協会へ救助犬の出動依頼がありました。
 直後、現地担当部署 国交省仙台河川国土事務所と打合せ、調整後、出動を決定した。

従来救助犬は”生体”搜索を訓練しており、石巻現状では“ゼロ確認”と想定されること。

3/28 21:00

第三次派遣隊として、メンバー6名・犬4頭を車両2台に分乗し石巻市へ向かう。

石巻国道維持出張所の休憩室にて仮眠後現場へ向かう。

09:45

現場：宮城県石巻市国道45号線成田地区、度重なる余震による土砂崩落、幅100M・高さ30Mさらに上方部40Mが崩落。

11:00

現場搜索開始

- ・現場にて犬たちを順番に搜索開始する。
- ・どの犬も金属探知器の反応があった辺りで軽い反応あり。道路が見えるまで掘削するが、埋もれた車の発見には至らず。

16:00

本日の搜索は終了。

3/30 09:00

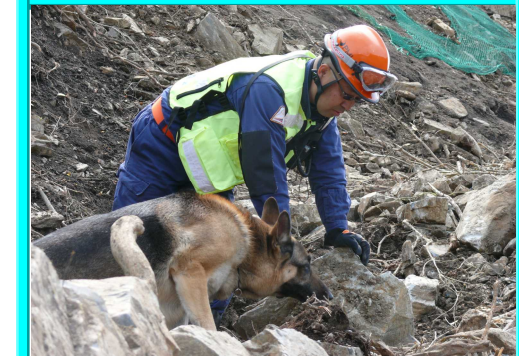
国土交通省職員とともに避難所に物資を届けに出発。
 石巻市渡波支所着。物資を渡す。被災地を視察後土砂崩れ現場へ。
 午後より2度に渡り、掘削現場を中心に搜索するも反応なし。

15:47

今回の瓦礫崩落現場の搜索から撤退することを決定

18:20

自衛隊に挨拶をして東京に向け帰途に就く。



東日本大震災 出動報告

第四次・第五次派遣隊

- 4/5 pm
22:40 **大船渡市より災害救助犬の出動要請あり。**
岩手県大船渡市に向け出発。
- 4/6 12:46 現地より大船渡市に向かう途中、さらに被害の大きい陸前高田市を
通過中、後続でも応援部隊が欲しいと要請が陸前高田市より有った。
14:00 消防との混成チームで大船渡港、碁石海岸付近を搜索。
17:00 東京本部へ応援部隊の要請確認をする共に、救助犬他団体へも現状
報告と出動要請を出す。明日は陸前高田市の移動、搜索に入る。
- 4/7 12:46 大船渡市の搜索を終了し、陸前高田市へ向かう。
夜中に大きな余震あり隊員全員異常なし。
- 4/8 08:20 陸前高田市役所付近搜索開始。
22:50 関東甲信越の災害救助犬団体、4団体が要請に応じ陸前高田に入る。
19:50 後発第一グループ出発(5名/3頭)
後発第二グループ出発(4名/4頭)
- 4/9 08:00 第四次・第五次派遣隊、陸前高田市役所で合流する。
午前中は警視庁機動隊と町の東側の搜索にあたる。
午後警視庁機動隊との合同搜索で、現場は陸前高田市小友町小友
浦付近となる。
15:30 小友町にて搜索開始瓦礫撤去前の最終確認搜索行う。
17:20 本日の搜索は終了、撤収。犬ともに全員怪我無し。公民館に戻る。
- 4/10 09:00 機動隊と合流し作業始める予定。隊員全員異常なし。
陸前高田市竹駒町十日市場付近を搜索開始する。
警視庁機動隊到着後、合同搜索。
15:30 現地撤収、帰路につく。

